

伸びる子

やさしく (愛いっぱい)
かしこく (夢いっぱい)
たくましく (元氣いっぱい)

令和6年
10月16日
五島市立
奥浦小学校
文責 橋詰稔

第11号

収穫の秋

子どもたちものびました

秋晴れの元、今年も山崎さんのご指導の下で育ててきたお米の収穫と脱穀を行いました。

昨年度から完全複式になっている本校では、いろいろなことが上の学年から下の学年に引き継がれています。一年おきに上の学年になったり、下の学年になったりするのですが、上の学年になった子どもたちは、やはり少し緊張する様子を見せています。するだけでなく、教えながらする、ということがその緊張感を生み出し、子どもたちを成長させるのでしょうか。

稲刈り後、外で、みんなで食べた炊きたてのおにぎりは、さぞやおいしかったことでしょう。

また、今年の脱穀は長崎大学から五名の実習生が来ていたため、いつもと違い、大学生にも教えながらの脱穀でした。大学生も、初めて脱穀をする人がほとんどで、こんな体験ができるのは素晴らしい、子どもたちがうらやましいと感動していました。

今年も稲の生長と共に成長した子どもたちが見られました。関係者の皆様に感謝いたします。



根を育てる

(非認知能力育成のために)

今年度夏休み終了前の一週間、「ハッピーチェック」に全家庭取り組んでいたきました。ありがとうございました。子どもたちは、生活リズムを戻そうとよく頑張っていました。完璧ではなくとも、どうか頑張ろうという子どもが多かったことが、保護者の方の感想からも感じ取ることができました。さて、その感想ですが、保護者の皆様が、子どもたちの頑張りを認めてくださっている感想が多いことに感心しました。あの感想を読んだらきっと子どもたちは喜んで、他のことも頑張ろうとするはずです。まさに、「非認知能力」が育成されていることを感じました。

これから先、さらに様々な行事等が予定されています。毎日の勉強も頑張っています。子どもたちの「根」がぐんぐん伸びていく抜群の肥料は、保護者の皆さんから認められること、「褒められること」です。「失敗」や「できなかったこと」には多少目をつむり、たくさんの方の肥料を与えてください。



※ 最後まで頑張り抜いた小体連については、第12号でお知らせします。